

# AMILIE NEWS

アミリエニュース

by Petlifestyle.co.ltd

Thema

## 「シニア期の家の工夫」

いつかは訪れる、愛犬・愛猫の老化や介護。シニア期に合わせた生活環境の工夫をご紹介します。



### 老犬老猫と過ごす上で**基本的なポイント**は？

**point1.** 模様替えをしない

目が悪くなった時に、大幅な配置変更はストレスに。

**point2.** 快適な室温キープ

湿度にも配慮し適温をキープ。適度に換気も忘れずに。

犬や猫も年齢に合わせた食事や運動の変化と共に、「生活環境」の工夫が必要になります。

**我が子は、人間だといくつ？**

犬や猫は、主に7歳を過ぎる頃から「シニア」と呼ばれる時期に入ります。

犬の年齢表

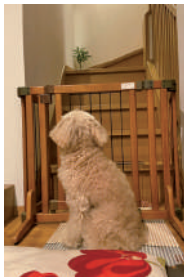
| 生後  | 小型犬～中型犬 | 大型犬 |
|-----|---------|-----|
| 1年  | 17歳     | 12歳 |
| 3年  | 28歳     | 26歳 |
| 5年  | 36歳     | 40歳 |
| 7年  | 44歳     | 54歳 |
| 10年 | 56歳     | 76歳 |
| 13年 | 68歳     | 92歳 |

猫の年齢表

| 生後  | 猫   |
|-----|-----|
| 1年  | 17歳 |
| 4年  | 32歳 |
| 9年  | 52歳 |
| 14年 | 72歳 |
| 17年 | 84歳 |
| 20年 | 96歳 |

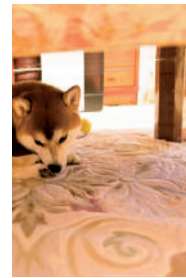
※犬年齢・猫年齢共に年は人間年齢で換算しています ※犬種・猫種・体質などによって個体差があります

#### 段差を減らす



若い時には簡単に駆け上がりジャンプできた段差や階段も、上り下りをためらうように。危険を予知して、上り下りができないようにしたり、スロープやステップを設置してあげるなどの工夫が大切です。

#### 家具の角をカバーする



白内障等でほとんど目が見えなくなってしまう子は、感覚を頼りに歩行するため、角への接触は特に危険。まずは接触が危険な場所を確認し、老化が進行した場合は安心出来る居場所を確保してあげましょう。

#### 隙間をなくす



後ろに下がるという動作が老いと共にむずかしくなるため、隙間から出られなくなることがあります。室内をチェックし、隙間をふさぎ、挟まったりぶつかったりしないように工夫してあげましょう。

#### トイレをベッドの近くに設置

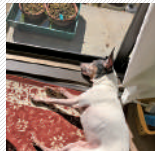


老齢期はトイレ回数も増え、我慢することも難しくなるため、トイレに間に合わず粗相をしてしまうこともあります。いつもいる居場所からトイレが遠すぎないような配置も大切です。

### 最期まで寄り添って、少しでも快適に

風と光を感じ、外での刺激も大切に

シニア期は病気が怪我が心配になりますが、外へ出かけることは脳にとってもよい刺激があります。年齢や状況に合わせて、歩いたり抱っこで、季節の変化や風を感じ匂いを嗅ぐ機会を与えてあげましょう。



シニアライフを見据えて、若い時に心がけて

愛犬愛猫が“穏やか”で“幸せ”なシニアライフを送れるよう、我が子が若いうちから少しずつ心構えを始めましょう。介護の必要が出てから急に対策を始めるのではなく、徐々に環境を工夫することが重要です。

AMILIE チャンネル

AMILIE WEB

愛犬愛猫に役立つ情報は動画でチェック！

住まいの事例や暮らしのアイデアが満載！



<https://pet-lifestyle.com/>

✳ AMILIE 住まいのご相談先

相模原市緑区長竹1746-1  
株式会社 コバホーム  
TEL : 042-784-5110  
FAX : 042-784-5048

